

所属：貿易アドバイザー協会（AIBA）

氏名：伊東仁一（いとうひとかず）

報告論題：船荷証券の元地回収とリスク

勤務先：山九（さんきゅう）株式会社 国際物流推進部

40年余り国際物流や国際的な3PL業務（3PLとは、物流改革を提案して、荷主から包括的に物流業務を受注する事業）に従事しております。

社外活動：一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会（JIFFA） 法務委員

JIFFAは、山九はじめ国際輸送を行っている物流業者が、480社程所属する業界団体です。

本論題を選択した背景：

ご存じのように船荷証券の元地回収は、いわゆる船荷証券の危機への一つの対処策として、アジアの近距離航路で広く行われていますが、あくまで便宜的な方法で、船荷証券に関する条約や関連する国内法、さらには信用状統一規則（UCP600）等でも何ら規定されていないところから、関係者が予期しないトラブルに巻き込まれることがあります。

一般社団法人 国際フレイトフォワードーズ協会（略称 JIFFA）でも、元地回収にともなうリスクに関して、会員を対象に注意を喚起する研修会を何度か開催していますが、元地回収は依然として、広く行われているのが現状です。

その為、貿易学会においても、その危険性について報告させていただきたいと考えるものです。JIFFA 研修会での講師の一人は、不肖私がつとめさせていただきましたので、そのエッセンスを学会で報告し、諸先生の叱正をいただければ幸甚です。

以上